



▲小見川幼稚園の園児たちの愛らしい演舞で祭りの幕が上がる



▲会場内が一体となった総乱舞



▲50人の旗士の共演「ハタフリ作戦」

おみがわYOSAKOIふるさとまつり

活気吹き込むよさこい旋風

11月13日、小見川市民センター「いぶき館」を中心に、おみがわYOSAKOIふるさとまつりが開催されました。当日はこの祭りの爽快さを象徴するかのような雲一つない秋晴れの下、全19チーム約650人が色鮮やかな衣装に身を包み、自慢の演舞を披露。コンテストでは銚子市から参加した「黒潮美遊」が大賞に輝き、見事3連覇を達成しました。

また、会場内では地元産品の販売はもちろん、ふれあい小動物園や歌謡ショー、菊花大会など子どもからお年寄りまで一日中楽しめる催しが盛りだくさん。観客はよさこいからもらった元気と地元のおいしい産品をお土産に会場を後にしました。

まちかど通信

楽しくホットなまちの話題をご紹介します

市民表彰

多大な功績や貢献をたたえ



▲前列左から伊藤寛さん、藤枝聖司さん、吉浜とめさん、吉濱眞樹雄さん

市民表彰式が11月7日に市役所で行われました。

今年は、小見川町農業委員会・香取市農業委員会委員として農業の振興と発展に貢献された伊藤寛さん（龍谷）に功労表彰が贈られました。

また、水郷佐原水生植物園の再整備の際、駐車場用地を寄付された吉浜とめさん（成田市）・吉濱眞樹雄さん（成田市）、市の子育て事業や奨学金事業に多額の寄付をされた藤枝聖司さん（成田市）の3人に善行表彰が贈られました。

昭和の名車大集合

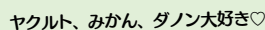
夢にまで見た、あの車たち

11月6日、オールドカー約80台が県立中央博物館大利根分館に集合しました。毎年好評の昭和の名車展では、今年も県内外各地から昭和30年代から60年代までに作られた名車が、訪れたオールドカーファンの目を癒しました。また、昭和55年にカナダで製造されたという子ども用のゴーカートをはじめ、館内にはレース用の貴重なパーツやミニカーコレクションなどの珍しい展示も。

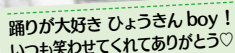
訪れた観客は、ボディや内装はもちろん、エンジンや車体の下まで余す所なく写真を撮りながら、憧れの車を見つめていました。



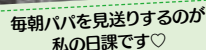
▲もちろんバリバリ走っています



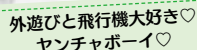
パパ 孝弘さん ママ 美幸さん



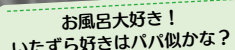
パパ 祐一さん、ママ 奈央子さん



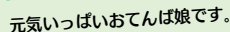
パパ 弘幸さん ママ 清美さん



パパ 守さん ママ 孝子さん



パパ 正之さん ママ 美絵さん



パパ 耕大さん ママ 美輝さん

掲載写真募集！